

令和元年度

# 学生によるオレンジリボン運動

千葉女子専門学校 実施報告書



実施主体 初谷ゼミ

実施内容 千葉聖心高校、千葉女子専門学校文化祭で発表

## ①事前に取り組んだ内容

- 昨年度の先輩の助言をもとに、①まず、自分たちが虐待の事を詳しく知る。②高校生の虐待認識を調査することに取り組んだ。③全校に広めるため、全学生に標語を考えてもらった。
- 「これって虐待だと思いますか？」をイラストで表現した。→ 高校でイラストを見ながら回答してもらうため。
- 回答結果をデータで表した。
- ポスター発表準備（虐待の基本的な知識、高校生へのインタビューから得た結果）
- リボンとスクールプラントのハートピーの種を小袋に入れプレゼント作り

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- 文化祭会場（ホール）に、ポスターとプレゼント用リボン（ハートピーの種入り）を用意する。
- 来場者にポスターの説明とリボンのプレゼント。一言メッセージを書いてもらう。
- ポスター発表の時間には、「これって虐待？」のイラストをフロアの方に見せ、高校生の意識調査結果を発表した。（イラストを見た高校生〇人中△%が虐待と認識等）
- 今年度の虐待予防標語最優秀賞の受賞式を行なった。（189 守ろう救おう子どもの命）
- 学校見学に来る高校生たちを対象に、オレンジリボン運動の説明をする時間をもらい2回行なった。

## ③オレンジリボン運動を終えて…

- 「昨年度より一歩深めよう」を目標に、まずは自分たち、そして自分の学校、それから高校生へと啓発の流れを作った。
- 1～2年生全員に、標語を募集したことで、全校の意識が向いてきたように感じる。
- 虐待への関心が持ちやすくなるようイラスト「これって虐待？」を作成し、インタビュー調査結果をデータ化したことで、予想以上に高校生の虐待に対する意識(理解)が薄いことが明らかになった。これ

## 写真



はとても危機的なことだと思った。(インタビュー項目とイラストは、担当の先生に紹介してもらった佐藤幸子氏の論文や奈良県健康福祉部子ども家庭課の資料を参考に、絵の得意な学生が中心となって作成した。)

- 今後もオレンジリボン運動を継続し、まずは身近な仲間たちから知らせていくことが、将来保育士として子どもの命を守る私たちの役割だと思った。



参考:奈良県健康福祉部子ども家庭課 3 これって虐待  
佐藤幸子「子ども虐待に対する高校生の意識と意識形成の世代伝播」

